

施策評価調書

整理番号 **12**

■ 総合計画(後期基本計画)

政策名	Ⅲ 健やか安心都市
施策名	① 市民主体の健康づくりの推進

所管部局	所管部局長の氏名
健康長寿福祉部	中村 悦雄

1 関連する個別計画 **PLAN**

個別計画名称	計画概要	計画年次	計画期間	備考
京丹後市健康増進計画	市民・関係団体・行政が一体となって、健康づくりに取り組むため策定	平成19年3月	平成19年度～平成28年度	健康増進計画(中間評価・見直し)策定(平成24年3月)

2 施策目的(何を対象にどのような状態にしたいのか・どのような状態に持っていきたいのか)

No.	施策目的	関連する施策方針
1	母子を対象に、健康診査による疾病の早期発見・早期治療、う歯予防、年中児発達サポート事業による発達支援、子育て支援及び予防接種を行い、母子の健康の保持増進を図り、子どもの健やかな成長及び虐待予防を推進する。	1 市民主体の健康づくりの推進
		2 一次予防の重視
		3 健康づくり支援体制の充実
2	市民を対象に、生活習慣病予防及び介護予防について、正しい知識の普及、健康情報の提供、人材育成等、市民が主体的に健康づくりを推進する環境を充実させることで、市民が主体となって健康の保持増進を図る。	1 市民主体の健康づくりの推進
		2 一次予防の重視
		3 健康づくり支援体制の充実
3	市民を対象に、こころの健康について、正しい知識の普及、健康情報の提供、人材育成、相談環境の充実等を行い、市民のこころの健康づくりを推進するとともに、自殺ゼロ対策に取り組む。	4 自殺予防対策の推進

3 目標値など

総合計画	めざす目標	指標名	総合計画作成時(H17)		後期基本計画作成時(H20)		H23年度実績値(現状)		目標(H26)	
			年度	年度	年度	年度	年度	年度		
健康な市民を増やします		う歯(むし歯)のない3歳児の割合	58%	H16	62.1%	H19	75.0%	H23	70%	H26
		胃がん検診の受診率	22%	H16	26.9%	H19	26.2%	H23	50%	H26
		乳がん検診の受診率	17%	H16	44.8%	H19	49.1%	H23	50%	H26
		子宮がん検診の受診率	15%	H16	42.1%	H19	46.1%	H23	50%	H26
		大腸がん検診の受診率	26%	H16	37.4%	H20	40.9%	H23	50%	H26
		肺がん検診の受診率	新規	-	43.5%	H20	43.6%	H23	50%	H26
		肺がん検診の受診率	新規	-	43.5%	H20	43.6%	H23	50%	H26
こころの健康づくりを進めます	「うつ予防」健康教室開催回数	新規	-	50回	H19	21回	H23	50回	H26	

個別計画	個別計画名称	指標名	説明・備考	計画策定時		H23年度実績値		目標	
				年度	年度	(現状)	年度	年度	年度
京丹後市健康増進計画		小学校児童の肥満児の割合(男子)【重点項目】		3.4%	H17	4.6%	H22	3.4%以下	H28
		小学校児童の肥満児の割合(女子)【重点項目】		7.3%	H17	3.2%	H22	3.2%以下	H28
		20歳代女性のやせ【重点項目】		20.3%	H17	12.5%	H22	12.5%以下	H28
		20～60歳代男性の肥満【重点項目】		21.5%	H17	19.4%	H22	15.0%以下	H28
		40～60歳代女性の肥満【重点項目】		17.9%	H17	9.7%	H22	9.7%以下	H28
		自分の適性体重を認識し、体重コントロールを実践する人の割合	20歳以上男性	48.9%	H17	56.9%	H22	90.0%以上	H28
			20歳以上女性	44.6%	H17	55.9%	H22	90.0%以上	H28
		自分の適性体重を維持することのできる食事を理解している人の割合	成人男性	24.4%	H17	23.7%	H22	60.0%以上	H28
			成人女性	32.1%	H17	30.5%	H22	70.0%以上	H28
		脂肪エネルギー比率	20～40歳代	-	H23	-	H22	20.0～25.0%以上	H28
		食塩摂取量	成人	-	H23	-	H22	10g未満	H28
		魚介類を週3回以上摂取する人の割合	成人	39.0%	H17	38.4%	H22	38.4%以上	H28
		野菜を毎食摂取する人の割合	成人	23.8%	H17	24.6%	H22	24.6%以上	H28
		朝食を欠食する人の割合	中学生	4.7%	H17	0.8%	H22	0.0%	H28
			20歳代男性	18.9%	H17	24.2%	H22	18.9%以下	H28
			30歳代男性	22.9%	H17	10.6%	H22	10.6%以下	H28
		外食や食品を購入するときに栄養成分表示を参考にする人の割合	成人	48.1%	H17	49.9%	H22	49.9%以上	H28
		自分の食生活に問題があると思う人のうち、食生活の改善意欲のある人の割合	成人男性	63.2%	H17	61.3%	H22	80.0%以上	H28
			成人女性	72.0%	H17	72.4%	H22	80.0%以上	H28
		むし歯のない幼児の割合	3歳【重点項目】	60.2%	H17	71.9%	H22	71.9%以上	H28
			1歳半	94.5%	H17	96.4%	H22	100.0%	H28
		間食時間を決めている幼児の割合	3歳	69.8%	H17	65.6%	H22	69.8%以上	H28
		1人平均むし歯数	12歳	2.4本	H17	2.16本	H22	1本以下	H28
		20本以上自分の歯を有する人の割合	80歳(75～84歳)	25.1%	H17	34.2%	H22	34.2%以上	H28
		24本以上自分の歯を有する人の割合	60歳(55～64歳)	49.4%	H17	52.3%	H22	52.3%以上	H28
		歯間部清掃用器具の使用者の割合	40歳(35～44歳)	24.2%	H17	34.3%	H22	50.0%以上	H28
			50歳(45～54歳)	20.5%	H17	41.0%	H22	50.0%以上	H28
		過去1年間に定期的な歯科検診を受けた人の割合【重点項目】	60歳(55～64歳)	8.7%	H17	14.7%	H22	30.0%以上	H28
		意識的に運動を心がけている人の割合	男性	63.6%	H17	69.8%	H22	70.0%以上	H28
			女性	66.8%	H17	71.8%	H22	71.8%以上	H28
		日常生活における歩数	男性	5,986歩	H17	5,759歩	H22	9,000歩以上	H28
			女性	5,362歩	H17	5,781歩	H22	8,400歩以上	H28
	男性(70歳以上)	5,479歩	H17	5,447歩	H22	6,800歩以上	H28		
	女性(70歳以上)	4,143歩	H17	4,921歩	H22	5,500歩以上	H28		
運動習慣者の割合【重点項目】	男性	27.6%	H17	31.5%	H22	50.0%以上	H28		
	女性	27.9%	H17	30.5%	H22	50.0%以上	H28		
何らかの地域活動を実施している人の割合	男性(60歳以上)	28.5%	H17	30.8%	H22	50.0%以上	H28		
	女性(60歳以上)	25.7%	H17	37.3%	H22	50.0%以上	H28		
ストレス(不満や悩み、苦勞など)を感じた人の割合		61.7%	H17	64.8%	H22	64.8%以下	H28		
睡眠による休養を十分にとれていない人の割合		39.9%	H17	43.8%	H22	10.0%以下	H28		
寝るために飲酒をする人の割合		9.2%	H17	9.8%	H22	9.8%以下	H28		
自殺者数		15人	H16	18人	H22	0人	H28		

個別計画	京丹後市健康増進計画	喫煙している人の割合【重点項目】	未成年者	—	H17	—	H22	0.0%	H28
			全体	20.5%	H17	13.5%	H22	13.5%以下	H28
			男性	38.1%	H17	26.8%	H22	26.8%以下	H28
			女性	6.3%	H17	2.8%	H22	2.8%以下	H28
		喫煙が及ぼす健康影響を知っている人の割合	肺がん	79.2%	H17	87.2%	H22	100.0%	H28
			喘息	39.5%	H17	47.0%	H22	100.0%	H28
			気管支炎	51.7%	H17	61.0%	H22	100.0%	H28
			心臓病	39.4%	H17	42.9%	H22	100.0%	H28
			脳卒中	37.2%	H17	42.9%	H22	100.0%	H28
			胃潰瘍	20.4%	H17	22.0%	H22	100.0%	H28
			妊娠に関連した異常	57.1%	H17	63.2%	H22	100.0%	H28
			歯周病	18.3%	H17	22.6%	H22	100.0%	H28
		分煙を実施している割合	公共の場	—	H17	100%	H22	100.0%	H28
			職場	—	H17	100%	H22	100.0%	H28
		未成年者の飲酒割合	—	H17	—	H22	0.0%	H28	
		多量に飲酒する人の割合	男性	7.7%	H17	6.8%	H22	3.4%以下	H28
			女性	0.5%	H17	0.7%	H22	0.2%以下	H28
		「節度ある適度な飲酒」について知っている人の割合	男性	59.3%	H17	55.5%	H22	100.0%	H28
			女性	44.7%	H17	36.7%	H22	100.0%	H28
		基本健康診査の受診率	20歳以上	35.4%	H17	30.1%	H22	100.0%	H28
			40歳以上	38.8%	H17	31.8%	H22	100.0%	H28
		胃がん検診の受診率	40歳以上	13.3%	H17	27.8%	H22	100.0%	H28
		肺がん検診の受診率	40歳以上	22.5%	H17	45.9%	H22	100.0%	H28
		乳がん検診の受診率【重点項目】	40歳以上	16.7%	H17	50.0%	H22	100.0%	H28
		子宮がん検診の受診率	20歳以上	26.6%	H17	45.4%	H22	100.0%	H28
		大腸がん検診の受診率【重点項目】	40歳以上	17.7%	H17	40.9%	H22	100.0%	H28
		高血糖者の割合	基本健康診査受信者の中	32.7%	H17	27.9%	H22	27.9%以下	H28
		血圧高値異常者の割合	の要指導・要医療者割合	61.2%	H17	43.4%	H22	43.4%以下	H28
高脂血症者の割合		47.5%	H17	44.9%	H22	44.9%以下	H28		
肥満者の割合		18.7%	H17	19.0%	H22	18.7%以下	H28		

4 評価結果一覧

DO

CHECK

施策方針	事務事業		予算額(単位:千円)		事務事業評価結果							施策評価結果				
	事業内容(実績)		H23決算額	H24予算額(一般財源)	根拠法令	単独事業	財政負担	事業種別	対象	実施手法	関与必要性 数値 説明	施策目的	施策貢献度	今後の方向性		
1 市民主体の健康づくりの推進	1	保健センター管理運営事業 保健センターの維持管理(峰山町を除く各町センター5か所)	健康推進課	5,355	1,872 (1,872)	市規定	含む	単費	維持管理	市民	直	1	該当なし	1,2	A	統合(整理)
	2	保健衛生総務一般経費 各種保健事業を円滑に実施するために必要な経費	健康推進課	7,300	8,123 (8,123)	なし	含む	単費	内部管理	—	—	—	—	1,2	A	現状維持
	3	健康づくり推進員活動事業 健康づくり推進員の育成研修会の開催(推進員:232人)	健康推進課	1,715	1,286 (1,214)	市規定	含む	単費	サービス	市民	直	6	生命財産権利保護	2	A	現状維持
	4	在宅健康管理システム事業【Ⅲ-⑥にも該当】 携帯端末機器と自動血圧計を活用して、在宅の市民に保健師が健康指導を実施	健康推進課	3,163	3,335 (3,335)	市規定	含む	単費	サービス	市民	直	6	生命財産権利保護	2	A	現状維持
2 一次予防の重視	1	地域健康づくり推進事業 食生活改善推進員による市民の健康づくりを推進(研修会延12回、地域伝達講習会36回)	健康推進課	417	556 (556)	国規定	—	単費	サービス	市民	直	6	生命財産権利保護	2	A	現状維持
	2	健康相談・指導事業 総合健診結果報告会を開催(45会場 2,153人)し、健康相談・保健指導・栄養指導を実施	健康推進課	2,021	2,750 (2,167)	国規定	—	府・一部	サービス	市民	直	6	生命財産権利保護	2	A	現状維持
	3	予防接種事業 予防接種法に基づく予防接種及び高齢者インフルエンザ予防接種の実施	健康推進課	99,547	101,271 (101,271)	義務	—	単費	—	—	—	—	—	1	S	現状維持
	4	子宮頸がん等予防接種事業 子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン接種費用を全額助成	健康推進課	83,619	72,986 (36,009)	国規定	—	国・一部	サービス	市民	委・扶	2	特定サービス	1	S	現状維持
3 健康づくり支援体制の充実	1	不妊治療費助成金 不妊治療を受けられている夫婦に対して不妊治療にかかる費用の一部を助成(30人)	健康推進課	1,018	1,000 (500)	国規定	—	府・一部	サービス	市民	補	1	該当なし	1	A	現状維持
	2	母子健康支援事業 妊娠中から出産、子育て期間を通して、健診、各種教室を実施(妊婦健診、乳幼児健診等)	健康推進課	41,153	12,263 (11,269)	義務	含む	府・一部	—	—	—	—	—	1	A	現状維持
		妊婦健康支援事業 平成23年度は、「母子健康支援事業」で実施	健康推進課		29,923 (19,128)											
	3	発達障害児等早期発見・早期療育支援事業 健康観察(問診票)による発達障害児の早期発見、早期療育(対象児数:462人)	健康推進課	433	750 (394)	義務	含む	府・一部	—	—	—	—	—	1	A	現状維持
	4	総合検診事業 健康診査と各種がん検診などを同時に受ける総合検診を実施(50日間・27会場)	健康推進課	104,784	110,773 (103,069)	国規定	—	国・一部	サービス	市民	直・委	6	生命財産権利保護	2	S	現状維持
5	機能訓練事業 疾病等による心身機能低下者に対し、機能回復、介護予防に必要な訓練、知識の提供(18回)	健康推進課	245	210 (210)	国規定	—	単費	サービス	市民	直	6	生命財産権利保護	2	A	現状維持	
4 自殺予防対策の推進	1	自殺予防対策事業 京丹後市自殺ゼロ実現推進協議会との連携のもと自殺予防対策(いのちの電話、自殺予防街頭啓発)	健康推進課	1,747	2,031 (1,031)	国規定	—	国府全額	サービス	市民	直	5	生活支援安全網	3	A	現状維持
			計	352,517	349,129 (290,148)											

※ 3-2の事務事業は、平成24年度当初予算において分割されていることから、H24予算額及び今後の方向性(施策評価)欄を分割して表示しています。

5. 今後の施策展開について

ACTION

No.	歳出抑制の考え方	補完・代替措置などがある場合は、その内容
1	総合検診事業について、超音波検査の対象者を縮小する。また、検診料一部負担を検討する。	検診料一部負担については、低所得者は減免措置が必要である。
2	保健センターの運営について、利用状況や施設管理状況等の面から、有効な活用に向けて他施設等への転用等を検討する。	
3	施策を構成する事業を実施することにより、疾病の予防、早期発見、早期治療及び疾病の悪化予防を推進し、医療費の適正化を図る。	

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	01保健衛生総務費	02保健センター-管理運営事業																																																												
細事業名	01 保健センター-管理運営事業			決算書 P.160																																																												
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進																																																												
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率																																																												
5,355千円		5,456千円	101千円	98.1%																																																												
目的	保健事業の拠点となる保健センターの維持管理を通し、市民の疾病予防、健康の維持・増進を図ることを目指すもの。																																																															
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>乳幼児健診、予防接種、健康・介護予防教室事業等の保健事業が円滑に実施され、市民の保健福祉の増進に貢献した。</p> <table border="0"> <tr> <td>○大宮保健センター（利用者：97件、1,648人）</td> <td></td> <td>34千円</td> </tr> <tr> <td>プロパンガスの燃料費</td> <td>34千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○網野保健センター（利用者：155件、4,211人）</td> <td></td> <td>779千円</td> </tr> <tr> <td>プロパンガスの燃料費、光熱水費ほか</td> <td>629千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>施設清掃等の委託料</td> <td>115千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>備品購入費（掃除機）ほか</td> <td>35千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○丹後保健センター（利用者：18件、243人）</td> <td></td> <td>616千円</td> </tr> <tr> <td>プロパンガスの燃料費、光熱水費ほか</td> <td>314千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電話代等</td> <td>42千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>施設警備・施設清掃等の委託料</td> <td>225千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事請負費（地上デジタル配線工事）</td> <td>35千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○弥栄保健福祉センター（利用者：26件、394人）</td> <td></td> <td>772千円</td> </tr> <tr> <td>自動ドア修繕料</td> <td>373千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土地借上料（991.73㎡）ほか</td> <td>399千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○久美浜保健センター（利用者：28件、499人）</td> <td></td> <td>3,128千円</td> </tr> <tr> <td>プロパンガス・重油の燃料費、光熱水費ほか</td> <td>1,693千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電話代・ごみ処理手数料等</td> <td>217千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>施設清掃・消防設備保守点検等の委託料</td> <td>1,135千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>備品購入費（ホットカーペット2組）</td> <td>83千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○その他（公有建物損害共済保険料等）</td> <td></td> <td>26千円</td> </tr> </table>				○大宮保健センター（利用者：97件、1,648人）		34千円	プロパンガスの燃料費	34千円		○網野保健センター（利用者：155件、4,211人）		779千円	プロパンガスの燃料費、光熱水費ほか	629千円		施設清掃等の委託料	115千円		備品購入費（掃除機）ほか	35千円		○丹後保健センター（利用者：18件、243人）		616千円	プロパンガスの燃料費、光熱水費ほか	314千円		電話代等	42千円		施設警備・施設清掃等の委託料	225千円		工事請負費（地上デジタル配線工事）	35千円		○弥栄保健福祉センター（利用者：26件、394人）		772千円	自動ドア修繕料	373千円		土地借上料（991.73㎡）ほか	399千円		○久美浜保健センター（利用者：28件、499人）		3,128千円	プロパンガス・重油の燃料費、光熱水費ほか	1,693千円		電話代・ごみ処理手数料等	217千円		施設清掃・消防設備保守点検等の委託料	1,135千円		備品購入費（ホットカーペット2組）	83千円		○その他（公有建物損害共済保険料等）		26千円
○大宮保健センター（利用者：97件、1,648人）		34千円																																																														
プロパンガスの燃料費	34千円																																																															
○網野保健センター（利用者：155件、4,211人）		779千円																																																														
プロパンガスの燃料費、光熱水費ほか	629千円																																																															
施設清掃等の委託料	115千円																																																															
備品購入費（掃除機）ほか	35千円																																																															
○丹後保健センター（利用者：18件、243人）		616千円																																																														
プロパンガスの燃料費、光熱水費ほか	314千円																																																															
電話代等	42千円																																																															
施設警備・施設清掃等の委託料	225千円																																																															
工事請負費（地上デジタル配線工事）	35千円																																																															
○弥栄保健福祉センター（利用者：26件、394人）		772千円																																																														
自動ドア修繕料	373千円																																																															
土地借上料（991.73㎡）ほか	399千円																																																															
○久美浜保健センター（利用者：28件、499人）		3,128千円																																																														
プロパンガス・重油の燃料費、光熱水費ほか	1,693千円																																																															
電話代・ごみ処理手数料等	217千円																																																															
施設清掃・消防設備保守点検等の委託料	1,135千円																																																															
備品購入費（ホットカーペット2組）	83千円																																																															
○その他（公有建物損害共済保険料等）		26千円																																																														
主な財源	使用料 公有財産使用料		99千円																																																													
評価・課題等	久美浜保健センターを平成23年度末で久美浜病院施設の一部として転用し、保健センター機能を久美浜庁舎へ移転することで、施設の有効活用を図ることができた。																																																															
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課																																																															

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	01保健衛生総務費	50保健衛生総務一般経費
細事業名	01 保健衛生総務一般経費			決算書 P.162
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
7,300千円		7,533千円	233千円	96.9%
目的	各種保健事業を円滑に実施するために必要な臨時職員賃金、研修旅費、各種負担金などの経費。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>保健事業の実施に際し必要な臨時職員の任用や、各種研修・研究会等へ参加した。また、「京丹後市健康増進計画」の中間評価・見直しを行い、計画書及び概要版を作成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○産休代替保健師の任用経費（保健師2人） 2,910 千円 <ul style="list-style-type: none"> 社会保険料・雇用保険料 352 千円 臨時職員賃金 2,558 千円 ○職員研修等経費 435 千円 <ul style="list-style-type: none"> 普通旅費 355 千円 消耗品費 80 千円 ○健康増進計画中間評価見直し業務経費 2,186 千円 <p>中間評価（現状分析、課題の抽出、検討会議の開催等）、計画の見直し（策定部会の開催等）及び計画書とダイジェスト版の原稿作成については業者に業務委託を行い見直し業務を遂行した。計画書及びダイジェスト版の印刷については、市内業者で行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ダイジェスト版印刷費（23,000部） 298 千円 健康増進計画印刷費（400冊） 103 千円 計画見直し業務委託料 1,785 千円 ○健康管理システム保守経費（負担金） 1,560 千円 ○その他の総務費用 209 千円 <ul style="list-style-type: none"> 栄養士会・保健師協議会等負担金 102 千円 医薬材料費 2 千円 会議用お茶代 5 千円 保健福祉事業医療賠償保険料 76 千円 有料道路通行料 5 千円 損害賠償金（修繕料 1件） 19 千円 			
主な財源				
評価・課題等	<p>○健康増進計画の中間評価と見直しを行い、今後の課題と方向性を整理した。計画書について、市民にはダイジェスト版を、関係機関等には計画書を配付し、市民の健康意識の向上に努めた。</p> <p>○専門職としての研修への参加等により、保健事業を円滑に実施することができた。</p> <p>○今後も、法改正等による事業内容の増加や変更に伴い、各種研修会等に参加し、保健指導の専門性をさらに深める必要がある。</p>			
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	02保健対策費	03健康づくり推進員活動事業														
細事業名	01 健康づくり推進員活動事業			決算書 P.164														
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進														
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率														
1,715千円		1,752千円	37千円	97.8%														
目的	京丹後市健康増進計画における健康づくりを地域で具体的に推進していくために、地域の健康づくりリーダーとして健康づくり推進員を委嘱し、その研修と活動の支援を行う。																	
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>地域で健康づくりを推進するため、本年度は、運動による健康づくりの普及を重点とした研修会を行い、健康づくり推進員が地域で運動教室を行うなどの地区活動を行った。</p> <p>その他、地域での検診受診勧奨の声かけや、イベントに参加して健康づくりの啓発活動を実施した。</p> <p>○研修会の開催</p> <p>第1回全体研修会（5月24日） 参加人数：100人 講演「楽しく効果的な運動、そして運動継続の秘訣」 講師：（有）ヒューマンモア 松井 浩 氏</p> <p>○ブロック研修会の開催（7月に4回実施） 参加人数：158人 講演「体力測定と身につけたい運動の実技指導」 講師：健康運動指導士 家谷 美穂子 氏</p>																	
	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり推進員活動謝金（5,000円×230人） 1,150千円 ・講師謝金（2人） 148千円 ・費用弁償（講師旅費） 10千円 ・消耗品費（啓発用ポケットティッシュほか） 266千円 ・通信運搬費（郵便代） 124千円 ・備品購入（ウォーキング用補助用品） 17千円 																	
	<p>健康づくり推進員（平成24年3月24日現在）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>峰山</td> <td>大宮</td> <td>網野</td> <td>丹後</td> <td>弥栄</td> <td>久美浜</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>47人</td> <td>27人</td> <td>45人</td> <td>22人</td> <td>17人</td> <td>72人</td> <td>230人</td> </tr> </table> <p>任期：平成22年3月25日～平成24年3月24日（2年間）</p>				峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計	47人	27人	45人	22人	17人	72人	230人
峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計												
47人	27人	45人	22人	17人	72人	230人												
主な財源	府補	未来づくり交付金（健康づくり推進員活動事業）		800千円														
評価・課題等	<p>○各種研修会を通して、地域の健康づくりに目を向ける意識づけができ、推進員が中心となった地域の健康づくり活動が展開できた。</p> <p>○任期が2年のため、効果的に活動ができるよう工夫が必要である。</p>																	
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課																	

予算科目	O4衛生費	O1保健衛生費	O2保健対策費	O4在宅健康管理システム事業																							
細事業名	O1 在宅健康管理システム事業			決算書 P.164																							
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進																							
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率																							
3,163千円		3,345千円	182千円	94.5%																							
目的	市民が自動血圧計と携帯専用端末機を使い、在宅での血圧測定を習慣化し、健康管理意識を高めていくことにより、生活習慣病や早世、寝たきりなどの予防を推進していく。																										
主要な事務・事業及び成果の概要	市民が在宅で、自動血圧計と携帯電話網に接続した携帯専用端末機を使い、健康情報（血圧、脈拍、体調、歩数、体重）を市のサーバに送り、保健師等がモニターをして必要に応じた健康指導を実施した。																										
	<ul style="list-style-type: none"> ○健康指導臨時保健師賃金（保健師1人） 438千円 ○消耗品費（指導用リーフレットほか） 84千円 ○通信運搬費（結果レポート郵送通知） 48千円 ○費用弁償（地域協議会委員旅費） 1千円 ○委託料（情報通信技術業務委託料） 2,520千円 ○使用料（ソフトウェア使用料） 72千円 <p>○利用状況（平成23年4月～平成24年3月累計）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">利用者数</td> <td style="text-align: right;">延べ</td> <td style="text-align: right;">270人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">利用台数（平成24.3月末）</td> <td></td> <td style="text-align: right;">175台</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">年間平均稼働率</td> <td></td> <td style="text-align: right;">85.1%</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">1人当たりの血圧データ送信回数/月</td> <td></td> <td style="text-align: right;">32.1回</td> </tr> </table> <p>○指導状況</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">電話での保健指導（対応）</td> <td style="text-align: right;">延べ</td> <td style="text-align: right;">290件</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">メール指導</td> <td style="text-align: right;">延べ</td> <td style="text-align: right;">4,157件</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">訪問</td> <td style="text-align: right;">延べ</td> <td style="text-align: right;">223件</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">来所</td> <td style="text-align: right;">延べ</td> <td style="text-align: right;">45件</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">※保健師10人、臨時保健師1人が担当を受け持ち対応</p>				利用者数	延べ	270人	利用台数（平成24.3月末）		175台	年間平均稼働率		85.1%	1人当たりの血圧データ送信回数/月		32.1回	電話での保健指導（対応）	延べ	290件	メール指導	延べ	4,157件	訪問	延べ	223件	来所	延べ
利用者数	延べ	270人																									
利用台数（平成24.3月末）		175台																									
年間平均稼働率		85.1%																									
1人当たりの血圧データ送信回数/月		32.1回																									
電話での保健指導（対応）	延べ	290件																									
メール指導	延べ	4,157件																									
訪問	延べ	223件																									
来所	延べ	45件																									
主な財源	府補 未来づくり交付金（在宅健康管理システム事業）			1,500千円																							
評価・課題等	<p>○利用者の多くに血圧改善がみられた。また、本事業の利用をきっかけに、生活改善に取り組んだ方も多く、健康管理意識の向上につながった。</p> <p>○医療機関への受診につながった利用者も多く、脳卒中などの合併症を防ぎ、医療費削減が期待できる。利用期間を最長1年としていることから、高い稼働率を維持できるよう、周知、勧奨等継続していく必要がある。</p>																										
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課																										

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	02保健対策費	01地域健康づくり推進事業																
細事業名	01 地域健康づくり推進事業					決算書	P.164													
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進															
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)		執行率														
417千円		425千円		8千円		98.1%														
目的	健康づくりに対する意識を啓発するとともに、健康づくりの重要な要素である栄養の視点から食生活改善のための地域活動を推進する。																			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>健康づくりに欠かせない食生活の視点から、健康づくりを推進するため、管理栄養士による食生活改善推進員に研修を実施した。それを受けて食生活改善推進員が地域住民へ、生活習慣病予防などのための伝達講習会を行い、市民の健康づくりを支援した。</p> <p>【事業実施状況】</p> <p>◎地域活動を進めるための研修会 95千円</p> <p>○総会時全体研修会「地域に広めよう減塩～生活習慣病予防のために～」 講師：公立八鹿病院 栄養管理課 技師長 渡辺 善利氏 参加人数：88人</p> <p>○各支部毎の研修会 担当：健康推進課管理栄養士 6支部×2回開催（参加人数：延べ205人） 第1回「地域に広げよう減塩習慣」 講話と調理実習 104人 第2回「減塩メニュー」 調理実習 101人 事業費：消耗品費（48千円）、賄材料費（37千円）、その他経費（10千円）</p> <p>◎地域伝達講習会 322千円</p> <p>36回開催、参加人数：延べ553人 食生活改善推進員による地域住民へ、健康づくりに欠かせない食生活の視点から生活習慣病予防などのための講習会を行い、市民の健康づくりを支援する。 事業費 食生活改善推進員謝金（3,000円×72人=216千円） 賄材料費（93千円）、その他経費（13千円）</p> <p>【会員数】</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>峰山</td> <td>大宮</td> <td>網野</td> <td>丹後</td> <td>弥栄</td> <td>久美浜</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>34人</td> <td>38人</td> <td>30人</td> <td>41人</td> <td>30人</td> <td>25人</td> <td>198人</td> </tr> </table>						峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計	34人	38人	30人	41人	30人	25人	198人
	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計													
34人	38人	30人	41人	30人	25人	198人														
主な財源																				
評価・課題等	<p>○食生活改善推進員を対象とした研修会の実施により、食生活改善推進員の地域での活動を支援するとともに、食生活改善推進員が食に関する豊かな知識を得ることができた。</p> <p>○壮年期及び高齢期だけでなく、子育て世代も対象に地域伝達講習会を実施し、市民の健康づくりを支援することができた。</p> <p>○今後も市民一人ひとりが健康づくりに取り組んでいけるよう、正しい知識を普及啓発していく必要がある。</p>																			
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課																			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	04老人保健費	01健康相談・指導事業
細事業名	01 健康相談・指導事業			決算書 P.166
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
2,021千円		2,089千円	68千円	96.7%
目的	生活習慣病をはじめとした疾病予防、介護予防などを目的に生活習慣を振り返り、早世予防、健康寿命の延伸、健康の保持増進を図る支援相談を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>市民の健康増進や疾病予防を目的に、健康相談・保健指導・栄養指導事業を実施した。健康相談では、個別に具体的な生活改善指導を実施した。健康教育は、生活習慣病予防・心の健康・介護予防などの集団健康教育による普及啓発を実施した。</p> <p>【健康相談】</p> <p>結果報告会（平成23年7月5日～11月18日、37日間） 延べ45会場 2,153 人参加</p> <p>栄養相談（予約制） 215 人実施</p> <p>【集団健康教育】</p> <p>結果報告会集団健康教育 197 回 3,344 人参加</p> <p>高血圧予防講演会 1 回 25 人参加</p> <p>「おさえておきたい！高血圧のあれこれ！ ～家庭医に聞く日常に役立つ高血圧の一般知識～」</p> <p>高血圧予防教室 2 回 14 人参加</p> <p>出前講座 105 回 3,082 人参加</p> <p>○指導者や講師に関する経費 840 千円</p> <p>臨時保健師・栄養士賃金 812 千円</p> <p>講師謝金、旅費 28 千円</p> <p>○事業の教材・資料・消耗品・その他通知に関する経費 1,172 千円</p> <p>消耗品費 269 千円</p> <p>印刷製本費 295 千円</p> <p>通信運搬費 608 千円</p> <p>○その他の経費 9 千円</p> <p>会場借上料等 9 千円</p>			
主な財源	府補 健康増進事業費等補助金（基本額2/3）			491千円
	諸収入 後期高齢者医療保健事業補助金（基本額2/3）			87千円
評価・課題等	<p>○多くの市民に健康情報を伝え、自分の健康について考えていただく機会となっている。</p> <p>○生活習慣病を予防していくため、今後も重点ポイントを持ち、継続的に健康相談や健康教育を実施する必要がある。</p>			
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	05予防費	01予防接種事業																																																									
細事業名	01 予防接種事業			決算書 P.168																																																									
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進																																																									
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率																																																									
99,547千円		110,363千円	10,816千円	90.1%																																																									
目的	伝染の恐れがある疾病の発生及び感染予防、発病防止、症状の軽減、病気のまん延防止のため、予防接種法に定める適切な時期に予防接種を実施する。																																																												
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>予防接種は、感染症対策上最も有効な手段であり、予防接種法により市に予防接種が義務付けられている。市は委託した医療機関で行う個別接種と保健センター等で医師会の派遣医師により行う集団接種により予防接種を行った。</p> <p>〔予防接種の種類・接種者数等〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>対象者(人)</th> <th>接種者(人)</th> <th>接種率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">集団</td> <td>ポリオ</td> <td>1,234</td> <td>618</td> <td>50.1</td> </tr> <tr> <td>二種混合</td> <td>683</td> <td>675</td> <td>98.8</td> </tr> <tr> <td>麻しん風しん(3期)</td> <td>641</td> <td>637</td> <td>99.4</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">個別</td> <td>麻しん風しん(4期)</td> <td>723</td> <td>683</td> <td>94.5</td> </tr> <tr> <td>三種混合</td> <td>2,150</td> <td>1,592</td> <td>74.0</td> </tr> <tr> <td>麻しん風しん(1期)</td> <td>370</td> <td>324</td> <td>87.6</td> </tr> <tr> <td>麻しん風しん(2期)</td> <td>477</td> <td>456</td> <td>95.6</td> </tr> <tr> <td>日本脳炎</td> <td>11,512</td> <td>4,900</td> <td>42.6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>BCG</td> <td>377</td> <td>375</td> <td>99.5</td> </tr> <tr> <td colspan="2">区 分</td> <td colspan="2">対象者</td> <td>接種者(人)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">個別</td> <td rowspan="2">インフルエンザ</td> <td colspan="2">65歳以上</td> <td>10,881</td> </tr> <tr> <td colspan="2">60～64歳(障害者)</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table> <p>※日本脳炎は、特例措置による対象者の拡大により対象者が確定できない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医師派遣委託料 1,696 千円 ○臨時看護師賃金 110 千円 ○事務経費(旅費・消耗品・役務費等) 1,160 千円 ○乳幼児等集団予防接種ワクチン等医薬材料費 3,989 千円 ○個別予防接種委託料 92,312 千円 ○予防接種助成金等給付費 280 千円 				区 分		対象者(人)	接種者(人)	接種率(%)	集団	ポリオ	1,234	618	50.1	二種混合	683	675	98.8	麻しん風しん(3期)	641	637	99.4	個別	麻しん風しん(4期)	723	683	94.5	三種混合	2,150	1,592	74.0	麻しん風しん(1期)	370	324	87.6	麻しん風しん(2期)	477	456	95.6	日本脳炎	11,512	4,900	42.6		BCG	377	375	99.5	区 分		対象者		接種者(人)	個別	インフルエンザ	65歳以上		10,881	60～64歳(障害者)		22
	区 分		対象者(人)	接種者(人)	接種率(%)																																																								
	集団	ポリオ	1,234	618	50.1																																																								
		二種混合	683	675	98.8																																																								
		麻しん風しん(3期)	641	637	99.4																																																								
	個別	麻しん風しん(4期)	723	683	94.5																																																								
		三種混合	2,150	1,592	74.0																																																								
		麻しん風しん(1期)	370	324	87.6																																																								
		麻しん風しん(2期)	477	456	95.6																																																								
		日本脳炎	11,512	4,900	42.6																																																								
	BCG	377	375	99.5																																																									
区 分		対象者		接種者(人)																																																									
個別	インフルエンザ	65歳以上		10,881																																																									
		60～64歳(障害者)		22																																																									
主な財源																																																													
評価・課題等	<p>○インフルエンザ予防接種においては、低所得世帯の接種費用を公費負担とし、感染予防と個人の重症化の防止を図ることができた。</p> <p>○法に基づく予防接種であり、さらなる接種率の向上に努める必要がある。</p>																																																												
事業所管課	健康長寿福祉部/健康推進課																																																												

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	05予防費	01予防接種事業	
細事業名	03 子宮頸がん等予防接種事業			決算書 P.168	
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	
83,619千円		83,955千円	336千円	99.5%	
目的	子宮頸がん及び乳幼児の髄膜炎の予防のために、子宮頸がん予防（HPV）ワクチン、ヒブ（インフルエンザ菌b型）ワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用を全額助成する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	●接種対象者				
		対象者	接種回数		
	子宮頸がん予防ワクチン	中学1年相当～高校1年相当	3回		
	ヒブワクチン	0歳児～4歳児	4回		
	小児用肺炎球菌ワクチン	0歳児～4歳児	4回		
	※ 子宮頸がん予防ワクチンの対象者は、平成23年度のみの特例措置として、高校2年生相当（17歳）が平成23年9月30日までに1回目の接種を行った場合に限り、年度末までに行った2回目及び3回目の接種費用が対象となる。				
	●接種実績				
		対象者数	延べ接種者数		
	子宮頸がん予防ワクチン	中1～高1相当	1,199 人	3,023 人	
		高2相当	321 人	527 人	
ヒブワクチン		2,242 人	1,402 人		
小児用肺炎球菌ワクチン		2,253 人	1,677 人		
○需用費	消耗品費（予診用紙代）	42 千円			
	印刷製本費（封筒）	12 千円			
○役務費	通信運搬費（郵送料）	143 千円			
	手数料（審査支払手数料）	258 千円			
○扶助費	子宮頸がん予防ワクチン接種費用給付費	53,250 千円			
	ヒブワクチン接種費用給付費	11,777 千円			
	小児用肺炎球菌ワクチン接種費用給付費	18,137 千円			
主な財源	府補	子宮頸がん等予防ワクチン接種費補助金（1/2）	43,251千円		
評価・課題等	○子宮頸がん予防ワクチンは接種率約90%であるが、ヒブワクチンと小児用肺炎球菌ワクチンは接種者が当初見込みよりも少なかった。 ○今後は、予防接種を希望する対象者が、予防接種を受けられるように適切な情報提供に努める必要がある。				
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	03母子保健費	01不妊治療費助成事業																										
細事業名	01 不妊治療費助成金			決算書 P.166																										
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進																										
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率																										
1,018千円		1,018千円	0千円	100.0%																										
目的	少子化対策の一環として、不妊治療を受けられている夫婦に対して、不妊治療にかかる費用の一部を助成することにより経済的負担を軽減する。																													
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>医療保険適用の治療、人工授精を助成対象として、自己負担額の1/2以内で助成した。 (1人あたり100千円/年度が上限、ただし保険適用のみの場合60千円/年度を上限)</p> <p>〈不妊治療助成金交付実績〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23年度</th> <th>H22年度</th> <th>H21年度</th> <th>H20年度</th> <th>H19年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実人員</td> <td>30人</td> <td>34人</td> <td>32人</td> <td>26人</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>助成金額</td> <td>1,018千円</td> <td>704千円</td> <td>563千円</td> <td>492千円</td> <td>449千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成23年度から、上限額を30千円から100千円に拡充するとともに、治療の対象に人工授精を追加した。 人工授精による申請 7人</p> <p>※不妊治療助成制度は、国の少子化対策の一環として市が制度化しているものであり、京都府においては、市町村への助成制度とは別に府の事業として、特定不妊治療助成事業を実施している。</p> <p>〈特定不妊治療助成事業の利用状況〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実人員</th> <th>延べ件数</th> <th>助成額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23年度</td> <td>19人</td> <td>30件</td> <td>4,325千円</td> </tr> </tbody> </table>					H23年度	H22年度	H21年度	H20年度	H19年度	実人員	30人	34人	32人	26人	24人	助成金額	1,018千円	704千円	563千円	492千円	449千円		実人員	延べ件数	助成額	H23年度	19人	30件	4,325千円
		H23年度	H22年度	H21年度	H20年度	H19年度																								
実人員	30人	34人	32人	26人	24人																									
助成金額	1,018千円	704千円	563千円	492千円	449千円																									
	実人員	延べ件数	助成額																											
H23年度	19人	30件	4,325千円																											
主な財源	府補 不妊治療給付事業助成費補助金 (1/2)			509千円																										
評価・課題等	<p>○少子化対策の一環として有効な事業であり、毎年、制度の利用者、助成金額共に増加している。</p> <p>○制度の周知は、市のお知らせ版やホームページを活用しているが、治療の特殊性から産婦人科等の医療機関で本申請を勧められるケースもあり、より効果的な周知方法の検討が必要である。</p>																													
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課																													

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	03母子保健費	02母子健康支援事業																																					
細事業名	01 母子健康支援事業			決算書 P.166																																					
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進																																					
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率																																					
41,153千円		47,064千円	5,911千円	87.4%																																					
目的	妊娠中から出産、子育て期間を通して、健診、各種教室を実施することで、子どもの健やかな成長発達及び保護者が安心して自信を持って育児に向かえるよう支援する。																																								
主要な事務・事業及び成果の概要	【妊婦健康診査】		29,139千円																																						
	妊婦健診に係る公費負担は、平成21年度から基本健診5回を、基本健診14回と検査項目ごとの追加検査（上限90,080円）に拡充した。平成23年度から、検査項目にクラミジアを追加し、妊婦が安心して受診、出産できる環境を整備した。 また、妊婦の歯科健康診査を実施することにより、妊婦の口腔衛生の向上を図った。 妊婦者数：406人（基本検診検査数：4,040回、追加検診検査数：4,276回） 妊婦歯科健診受診者：95人																																								
	【乳幼児健康診査】		9,848千円																																						
	発達の日々の時期に健診を実施し、気になる乳幼児の早期発見・早期支援につなげるとともに、保護者への子育て支援を行う。時期に応じて、歯科健診、フッ素塗布を実施する。 〔乳幼児健康診査実績〕 (単位：人、回、%)																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>対象者数</th> <th>実施回数</th> <th>受診者数</th> <th>受診率</th> <th>前年度受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4か月児</td> <td>364</td> <td>24</td> <td>356</td> <td>97.8</td> <td>99.5</td> </tr> <tr> <td>10か月児</td> <td>355</td> <td>24</td> <td>349</td> <td>98.3</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>1歳6か月児</td> <td>408</td> <td>28</td> <td>399</td> <td>97.8</td> <td>98.4</td> </tr> <tr> <td>2歳6か月児</td> <td>443</td> <td>27</td> <td>433</td> <td>97.7</td> <td>97.9</td> </tr> <tr> <td>3歳児</td> <td>445</td> <td>31</td> <td>428</td> <td>96.2</td> <td>98.7</td> </tr> </tbody> </table>						対象	対象者数	実施回数	受診者数	受診率	前年度受診率	4か月児	364	24	356	97.8	99.5	10か月児	355	24	349	98.3	100	1歳6か月児	408	28	399	97.8	98.4	2歳6か月児	443	27	433	97.7	97.9	3歳児	445	31	428	96.2
対象	対象者数	実施回数	受診者数	受診率	前年度受診率																																				
4か月児	364	24	356	97.8	99.5																																				
10か月児	355	24	349	98.3	100																																				
1歳6か月児	408	28	399	97.8	98.4																																				
2歳6か月児	443	27	433	97.7	97.9																																				
3歳児	445	31	428	96.2	98.7																																				
【母子等健康支援教室開催事業】		2,111千円																																							
両親学級11回（60組）、離乳食教室12回（116人） フッ化物洗口事業（13保育所、1幼稚園、3小学校）、保育所幼稚園歯科教室（34回） 歯科講演会（3回）																																									
【その他経費】 旅費等		55千円																																							
主な財源	府補	フッ素による子どものむし歯予防事業費補助金（1/2）		739千円																																					
	府補	妊婦健康診査補助金（1/2）		9,741千円																																					
評価・課題等	○妊産婦、乳幼児に対して、時期に応じた健診、教室等実施することで、気になる乳幼児の早期発見、支援（専門機関への紹介、療育等）を行うことができた。 ○保護者に対しての子育て不安の軽減にもなっており、子どもの健やかな成長発達を促すことができた。 ○今後は、妊婦歯科健診の受診率向上のための指導や周知が必要である。																																								
事業所管課		健康長寿福祉部／健康推進課																																							

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	03母子保健費	03発達障害児等早期発見・早期療育支援事業	
細事業名	01 発達障害児等早期発見・早期療育支援事業			決算書	P.166
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率
433千円		434千円		1千円	99.7%
目的	発達障害等により集団生活が困難な幼児の早期発見、早期療育の観点から、子ども、保護者、保育者が安心して自信をもって就学が迎えらるよう適切な支援を実施する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	○対象児数：462人				
	平成21年度は峰山地域、平成22年度は峰山地域、丹後地域、弥栄地域、久美浜地域、平成23年度は網野地域、大宮地域を加え、市内全27保育所、3幼稚園を対象に実施した。				
	○事業内容及び成果 保護者説明会を開催し事業説明及び幼児期後半の子どもの発達と対応について健康教育を実施。健康観察票（問診票）を配布し100%の回収率を得られた。スクリーニングと行動観察の結果により、事後支援として府発達相談・こどもクリニック、市すくすく子育て相談、保健師による個別相談を実施した。				
	最終スクリーニング結果		要支援児の支援方法（重複あり）		
問題なし	271人	58.7%	発達検査（保健所）	13人	
経過観察	140人	30.3%	こどもクリニック（保健所）	4人	
要支援	27人	5.8%	すくすく子育て相談	14人	
管理中	24人	5.2%	療育	1人	
○事業費					
発達障害児等早期発見・早期療育支援相談員報酬（2人）				372千円	
旅費（委員費用弁償）				20千円	
需用費（発達検査用具・問診用色上質ほか）				41千円	
主な財源	府補 発達障害児等早期発見・早期療育支援事業費補助金（1/2）			181千円	
評価・課題等	○支援の必要な幼児について、保護者、保育関係者及び専門機関と連携し、早期発見・早期支援・早期療育に結びつけることができた。 ○今後は、この支援体制が効果的に継続できるよう工夫を行う。				
事業所管課		健康長寿福祉部／健康推進課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	04老人保健費	02総合検診事業																																																														
細事業名	01 総合検診事業			決算書 P.168																																																														
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進																																																														
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率																																																														
104,784千円		105,321千円	537千円	99.4%																																																														
目的	がんや疾病の早期発見を行うとともに、生活習慣病予防のための健康意識を高め、改善につなげる。																																																																	
主要な事務・事業及び成果の概要	健康診査と各種がん検診などを同時に受けることができる総合検診として、地域の公民館等で実施した。																																																																	
	○実施期間：平成23年5月24日～10月5日																																																																	
	○実施日数及び会場数：50日間・27会場（各保健センター及び公民館等）																																																																	
	○検診業務委託料			101,873千円																																																														
	委託先：京都予防医学センター・京都府医師会																																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>検診内容</th> <th>対象者</th> <th>受診者数</th> <th>受診率</th> <th>前年度比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">健康診査</td> <td>20～39歳</td> <td>1,043人</td> <td></td> <td>△109人</td> </tr> <tr> <td>75歳以上</td> <td>1,629人</td> <td></td> <td>△132人</td> </tr> <tr> <td>生活保護・その他</td> <td>77人</td> <td></td> <td>△10人</td> </tr> <tr> <td rowspan="9">がん検診</td> <td>肺がん</td> <td>40歳以上</td> <td>8,264人</td> <td>43.6%</td> <td>△436人</td> </tr> <tr> <td>胃がん</td> <td>40歳以上</td> <td>4,966人</td> <td>26.2%</td> <td>△304人</td> </tr> <tr> <td>大腸がん</td> <td>40歳以上</td> <td>7,748人</td> <td>40.9%</td> <td>△4人</td> </tr> <tr> <td>肝炎ウイルス</td> <td>40歳以上</td> <td>678人</td> <td></td> <td>△92人</td> </tr> <tr> <td>前立腺がん</td> <td>55歳以上</td> <td>2,294人</td> <td></td> <td>221人</td> </tr> <tr> <td>腹部超音波</td> <td>40～70歳（5歳毎）</td> <td>1,267人</td> <td>23.7%</td> <td>△56人</td> </tr> <tr> <td>子宮がん（集団）</td> <td>20歳以上</td> <td>3,052人</td> <td rowspan="2">46.1%</td> <td rowspan="2">126人</td> </tr> <tr> <td>子宮がん（個別）</td> <td>20～40歳（5歳毎）</td> <td>78人</td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td>40歳以上</td> <td>2,826人</td> <td>49.1%</td> <td>△165人</td> </tr> </tbody> </table>				検診内容	対象者	受診者数	受診率	前年度比較	健康診査	20～39歳	1,043人		△109人	75歳以上	1,629人		△132人	生活保護・その他	77人		△10人	がん検診	肺がん	40歳以上	8,264人	43.6%	△436人	胃がん	40歳以上	4,966人	26.2%	△304人	大腸がん	40歳以上	7,748人	40.9%	△4人	肝炎ウイルス	40歳以上	678人		△92人	前立腺がん	55歳以上	2,294人		221人	腹部超音波	40～70歳（5歳毎）	1,267人	23.7%	△56人	子宮がん（集団）	20歳以上	3,052人	46.1%	126人	子宮がん（個別）	20～40歳（5歳毎）	78人	乳がん	40歳以上	2,826人	49.1%	△165人
	検診内容	対象者	受診者数	受診率	前年度比較																																																													
	健康診査	20～39歳	1,043人		△109人																																																													
		75歳以上	1,629人		△132人																																																													
		生活保護・その他	77人		△10人																																																													
がん検診	肺がん	40歳以上	8,264人	43.6%	△436人																																																													
	胃がん	40歳以上	4,966人	26.2%	△304人																																																													
	大腸がん	40歳以上	7,748人	40.9%	△4人																																																													
	肝炎ウイルス	40歳以上	678人		△92人																																																													
	前立腺がん	55歳以上	2,294人		221人																																																													
	腹部超音波	40～70歳（5歳毎）	1,267人	23.7%	△56人																																																													
	子宮がん（集団）	20歳以上	3,052人	46.1%	126人																																																													
	子宮がん（個別）	20～40歳（5歳毎）	78人																																																															
	乳がん	40歳以上	2,826人	49.1%	△165人																																																													
○送迎車両運転委託			25千円																																																															
○印刷製本、消耗品等（案内チラシ、申込書印刷等）			823千円																																																															
○通信運搬費（申込書、案内チラシ等）			2,031千円																																																															
○会場使用料			32千円																																																															
主な財源	国補	感染症予防事業費等補助金（1/2）	3,854千円																																																															
	府補	健康増進事業費等補助金（基本額2/3）	936千円																																																															
	諸収入	後期高齢者医療保健事業補助金（基本額2/3）	3,301千円																																																															
評価・課題等	○子宮頸がん、乳がん、大腸がん検診の節目対象者に個別案内を送付するなど、受診勧奨に努めたが、検診受診者は、前年度と比較し減少傾向にある。 ○今後も疾病の早期発見、健康増進のために受診率の向上に努める必要がある。																																																																	
事業所管課		健康長寿福祉部／健康推進課																																																																

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	04老人保健費	03機能訓練事業										
細事業名	01 機能訓練事業			決算書 P.168										
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進										
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率										
245千円		312千円	67千円	78.5%										
目的	疾病、外傷、老化等により心身機能が低下している方に対し、心身機能の維持回復、介護予防に必要な訓練、基本的な知識の提供などを行う。													
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>体力増進等を目的とした運動、絵画や陶芸などの手工芸、レクリエーションや交流などの活動を通じて訓練を行った。</p> <p>○実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京丹後リハビリの会 脳卒中などの疾病や外傷、その他の原因により心身機能の低下がある方を対象に閉じこもり、生活機能低下予防を目的とする。 実施回数：12回、参加実人数：23人、参加延べ人数：147人 ・あじさいの会（リウマチ交流会） リウマチ疾患の方を対象に、疾病の自己管理や生活機能低下予防のための知識普及を目的とする。 実施回数：6回、参加実人数：19人、参加延べ人数：75人 <p>※両教室において、65歳未満の実人数 3人／42人中（7.1%） ※対象者のうち、65歳未満分の経費のみ一般会計で執行し、65歳以上分は介護保険特別会計で執行</p> <p>○経費</p> <table border="0"> <tr> <td>臨時職員に関する経費 （介助員・看護師賃金）</td> <td>63千円</td> </tr> <tr> <td>講師に関する経費 （歯科衛生士・運動講師・食生活改善推進員・作業療法士・押し花講師・絵手紙講師）</td> <td>12千円</td> </tr> <tr> <td>事業の教材・資料等に関する経費 （消耗品費、賄材料費、会場借上料、通信運搬費）</td> <td>10千円</td> </tr> <tr> <td>送迎車両の維持管理に関する経費 （燃料費、修繕費、保険料、手数料、自動車重量税）</td> <td>130千円</td> </tr> <tr> <td>委託料（送迎のための運転業務委託）</td> <td>30千円</td> </tr> </table>				臨時職員に関する経費 （介助員・看護師賃金）	63千円	講師に関する経費 （歯科衛生士・運動講師・食生活改善推進員・作業療法士・押し花講師・絵手紙講師）	12千円	事業の教材・資料等に関する経費 （消耗品費、賄材料費、会場借上料、通信運搬費）	10千円	送迎車両の維持管理に関する経費 （燃料費、修繕費、保険料、手数料、自動車重量税）	130千円	委託料（送迎のための運転業務委託）	30千円
臨時職員に関する経費 （介助員・看護師賃金）	63千円													
講師に関する経費 （歯科衛生士・運動講師・食生活改善推進員・作業療法士・押し花講師・絵手紙講師）	12千円													
事業の教材・資料等に関する経費 （消耗品費、賄材料費、会場借上料、通信運搬費）	10千円													
送迎車両の維持管理に関する経費 （燃料費、修繕費、保険料、手数料、自動車重量税）	130千円													
委託料（送迎のための運転業務委託）	30千円													
主な財源														
評価・課題等	事業への参加により、社会参加、交流の機会となっており、参加者のほとんどが要介護状態にならずに日常生活を自立して送ることができている。													
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課													

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	01保健衛生総務費	03自殺予防対策事業
細事業名	01 自殺予防対策事業			決算書 P.162
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
1,747千円		1,757千円	10千円	99.4%
目的	かけがえのない生命が自らの手で絶たれているという痛ましい現実の中、自殺者をなくすために市民、行政、関係機関及び団体等が一体となって自殺予防対策を推進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	自殺者ゼロを実現するため、「京丹後市自殺ゼロ実現推進協議会」の構成団体と連携のもと、自殺の大きな要因の一つである「うつ予防対策」の取り組み強化を図り、臨床心理士によるこころの健康相談、こころの健康づくり講演会（こころの健康相談会を同日開催）、こころ・いのち・つなぐ手（ゲートキーパー）研修会を実施。また、フリーアクセスによる無料相談電話を引き続き実施した。			
	さらに、市民への啓発活動として、4回の街頭啓発を実施。概ね2,000人に啓発物品を配布した。			
	○フリーアクセス相談窓口受入謝金（京都いのちの電話）	100千円		
	○フリーアクセス通話料 561件	377千円		
	○こころ・いのち・つなぐ手研修会（3回開催） ゲートキーパー研修を名称変更し開催（参加者：延べ130人）	224千円		
	○こころの健康相談事業（毎月1回） 臨床心理士による相談日開設（相談者：延べ35人）	416千円		
	○こころの健康づくり講演会及びこころの健康相談会 平成23年10月22日（土） 演題「笑い笑顔でストレス社会を生き抜こう」（参加者：157人）	201千円		
	○自殺予防街頭啓発（協議会構成団体、丹後保健所及び市職員で実施）			
		日程	会場	啓発物品配布数
		5月30日	マイン（峰山）	300セット
	9月11日	にしがき（大宮店、弥栄店）	500セット	
	12月 9日	マイン（峰山）、Aコープあみの	500セット	
	3月 1日	マイン（峰山）、にしがき（間人店）、Aコープ久美浜	800セット	
○研修関係旅費等	402千円			
○その他共通経費（消耗品等）	27千円			
主な財源	府補 自殺対策事業補助金（10/10）	1,720千円		
評価・課題等	○各事業を通じて、参加者に「気づき」の重要性についての理解を深めてもらうことができた。 ○今後は、「気づき」から声を掛け、話を聞き、支援につなげる人を養成し、継続した見守りへの展開について、関係機関との更なる連携を検討する必要がある。			
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課			